

パウロ：年老いた使節

流れゆくときの中で：

高齢化社会における教会の在り方



西地区壮年婦人集会
2025年6月29日

平松契
中央聖書神学校

日本の現状

- **JAGは434人の牧師のうち、約80%が50代以上（日本の牧師は、89%が50代以上）**
- **10年後は半分は引退教師の予定**
- **プロテスタント教会の数は約7000。毎年100以上の教会が閉鎖**
- **現在500の教会が無牧。1500の教会が兼牧**

質問

- 皆さんが考える高齢者のクリスチャンの役割とは何ですか？

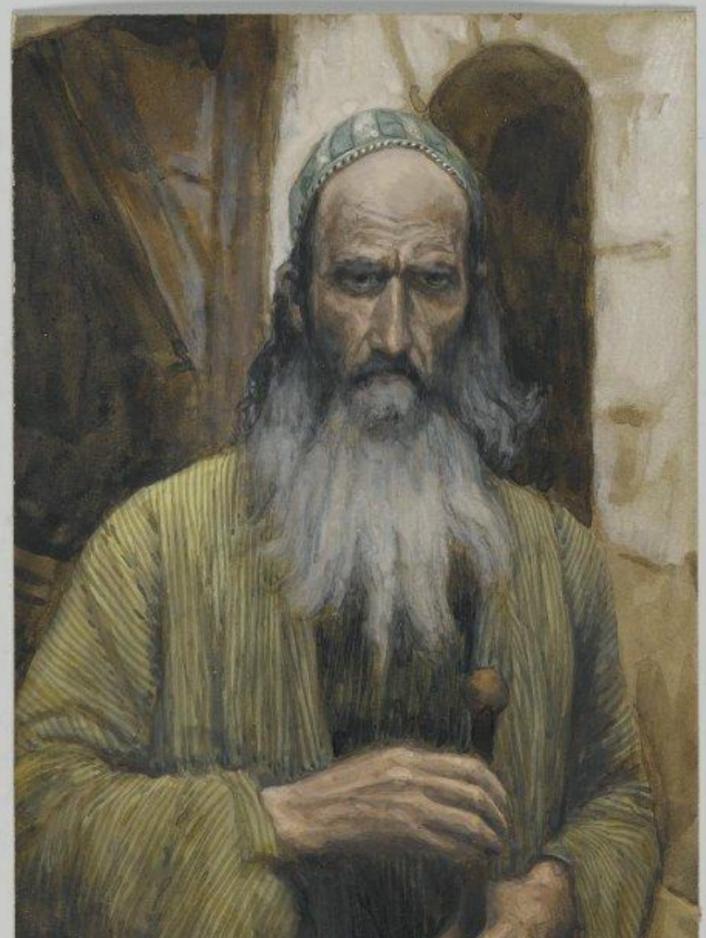
ピレモン 15-16

- **15** 彼がしばらくの間あなたから離されたのは、たぶん、あなたが彼を永久に取り戻すためであったのでしょう。
- **16** もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、すなわち、愛する兄弟としてです。特に私にとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、肉においても主にあっても、そうではありませんか。

ピレモン 9-10

- むしろ愛によって、あなたにお願いしたいと思えます。**年老いて**（プレスビュテース [πρεσβύτης]）、今はまたキリスト・イエスの囚人となっている私パウロが、
- **10** 獄中で生んだわが子オネシモのことを、あなたにお願いしたいのです。

パウロは何歳だったのか？



パウロはピレモン書を

書いたとき

おそらく**50**代

理由 1 : ヒポクラテス (紀元前**5-4**世紀)

- 幼年期 (パイドン[παιδίον]) : 歯が抜ける年齢の 7 歳まで
- 幼少期 (パイス[παῖς]) : 思春期を迎える 14 歳まで
- 少年期 (メイラキオン[μειράκιον]) : 髭が生え始める 21 歳まで
- 青年期 (ネアニスコス[νεανίσκος]) : 体が完全に成長する 28 歳まで
- 成人期 (アネール[άνηρ]) : 49 歳まで
- 中高年期 (プレスビュテース[πρεσβύτης]) : 56 歳まで
- 老年期 (ゲローン[γέρων]) : 56 歳以降

理由 2 : 使徒の働きとパウロの手紙から計算してみる

パウロがイエス様に出会ったのは何歳？

パウロがイエス様と出会ったのは紀元後何年？

パウロがピレモン書を書いたのはいつ？

パウロがイエス様に 出会ったのは何歳？



使徒7:58 そして彼を町の外に
追い出して、石で打ち殺した
。証人たちは、自分たちの着
物をサウロという**青年**の足も
とに置いた。

青年（ネアニアス [νεανίας]）
=24-40 歳の範囲

パウロがイエス様と出会ったのは紀元後何年？



パウロがイエス様にであったのは、紀元後 **32-36** 年頃

キリストの十字架＝紀元後**30**か**33**年

パウロがピレモン書を 執筆したのはいつか？

50年代-60年代初期

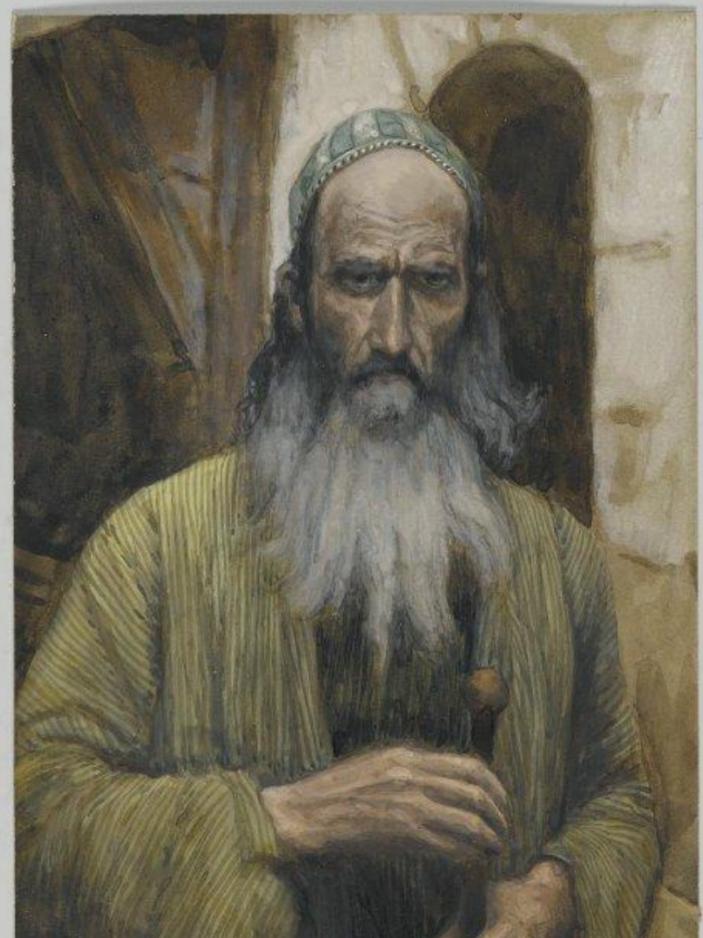


- エペソから：50年代前半から半ば
- カエサリアから：50年代後半
- ローマから：50年代後半から60年代初期

パウロは何歳？

- イエス様に出会った時は紀元後32-36年
- プレモン書を執筆したのは紀元後50-60年代
- 回心からプレモン書執筆まで = 18-28年経過
- イエス様に出会った時、パウロは20代半ばから40歳前後
- 20代半ばから40歳前後 + 18-28年 = 40代半ばから70歳ほど

パウロは使節？



パウロは使節？



PRESBYTEROS (πρεσβύτερος) = 使節・大使

理由 1 : パウロの他の手紙

「プレスビュテース (πρεσβύτης) 」と同語源の「プレスビューオー (πρεσβεύω) 」

- 2コリント5:20 : こういうわけで、神が私たちを通して勧めておられるのですから、私たちはキリストに代わる**使節 (プレスビューオー[πρεσβεύω])** なのです。私たちはキリストに代わって願います。神と和解させていただきなさい。
- エペソ6:20 : 私はこの福音のために、鎖につながれながらも**使節 (プレスビューオー[πρεσβεύω])** の務めを果たしています。宣べ伝える際、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

理由 2 : 七十人訳から

- 七十人訳 = ギリシャ語に翻訳された旧約聖書
- 第二マカバイ記 = マカベア戦争について記されている
- プレスブユテース (πρεσβύτης) = 使節
- 11章 34節 : ローマ人も彼らに宛てて、次のような内容の手紙を送った。「ローマ人の使節であるクイントゥス・マニウスが、ユダヤ人の民に挨拶する。」

理由 2 : 七十人訳から

- ピレモン「プレスビュテース (πρεσβύτης) 」
- 七十人訳歴代誌「プレスビューテース (πρεσβευτής) 」
- 第二歴代誌 32:31 : ただし、バビロンの首長たちが、この地に示されたしるしについて調べるために彼のもとに**使節**を遣わしたとき、神は彼を試みて、その心にあることすべてを知ろうとして彼を捨て置かれた。

プレスビューテース (πρεσβύτης)

年老いた者
使節



年老いた使節

年老いた使節が示唆すること 1

年齢を重ねることと、神の使節であることは共存する

「年老いた」=自らの肉体に関する形容

「使節」=神の召し

年老いた使節が示唆すること 2

年老いた使節の役割は、和解をもたらすこと。

年老いた者は、分断される対象者ではなく、年老いた者こそ、神の使節として和解をもたらすべき

年老いた使節が示唆すること 3

年老いた使節は、愛と謙遜に生きる。

ピレモン9節：むしろ愛のゆえに懇願します。このとおり年老いて、今またキリスト・イエスの囚人となっているパウロが

年老いた使節が示唆すること 4

年老いた使節は、良きメンターである。

アピヤ (2節)、アルキポ (2節)、エパfras (23節)、マルコ (23節)、アリストタルコ (23節)、デマス (23節)、ルカ (24節)
オネシモ (10節、12-15節)

年老いた使節が示唆すること 5

年老いた使節は、福音のために人の負債を負う

18 もし彼があなたに対して損害をかけたか、負債を負っているの
でしたら、その請求は私にしてください。**19** この手紙は私パウロ
の自筆です。私がそれを支払います——あなたが今のようになれ
たのもまた、私によるのですが、そのことについては何も言いま
せん。——

私のおじいちゃん



2010年3月30日（81歳）：神召教会引退

2010年4月（81歳）：大阪へ引っ越し

20019年まで（90歳まで）：引退後各教会で礼拝奉仕

2020年6月15日（91歳）：ベテルホーム入所

同月：胃がん発見

2020年8月22日（91歳）：召天

結論にかえて



イエス・キリストの十字架の死と復活は、私たちがキリストによって、キリスト共に、キリストに倣って、キリストの為に、どのように「生きるか」ということを示してくれた。従って、**自分を捨て、自分の十字架を負って**、キリストに従う生き方には歳の差はなく、年老いた者も若い者も全ての人が歩むべき道なのです。